

事前評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 25 |
|------|----|

| | | | |
|---------|-----------------|--------|------------------|
| 地域（地区）名 | みどりかわ 緑川 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 熊本県 | 対象市町村 | うまし 宇城市ほか7市町 |
| 事業実施期間 | H31 ～ H35 （5年間） | 事業実施主体 | 県、市町、森林組合、森林所有者等 |

| | |
|----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>本地区は、熊本県のほぼ中央に位置する宇城及び上益城^{かみましき}の2地区を包括する地域で、東は宮崎県と接し、西は有明海及び不知火海に面している。</p> <p>本地区の総面積119千haのうち、森林面積は69千ha（森林率58%）となっている。このうち、民有林の面積は55千ha（森林全体の80%）で、スギが42%、ヒノキ13%を占めており、スギはⅫ齢級、ヒノキはⅪ齢級をピークとする齢級構成となっている。Ⅴ～Ⅻ齢級が69%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれる。</p> <p>本地区内の民有林人工林の構成割合は、適正な保育・間伐を必要とするⅢ～Ⅻ齢級が71%を占める一方、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、林業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念される。</p> <p>また、本地区内には県指定希少野生動植物の保護区（カタクリ、アズマイチゲ、モートンイトトンボ）が3か所存在し、森林整備による生息環境の保全も期待される地区である。</p> <p>このため、緑川^{かん}地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく適切な森林整備を推進し、水源涵養機能や土砂流出防止便益等の森林の有する公益的機能の高度な発揮を維持、増進を図る。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：2,525ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：1,029,358千円（税抜き 953,109千円）</p> |
| 費用便益分析結果 | <p>B/C=5.24 （総便益（B）=9,229,633千円、総費用（C）=1,762,714千円）</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：伐採量の増加が見込まれる地域であり、伐採後の再造林や間伐等の適切な森林整備を実施し、水源涵養等の森林の有する公益的機能の維持が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：伐採後の再造林や適正な保育・間伐等を実施し、県指定希少野生動植物の生息環境の保全や、水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の維持、増進を目的としており、事業の有効性が認められる。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林環境保全整備事業

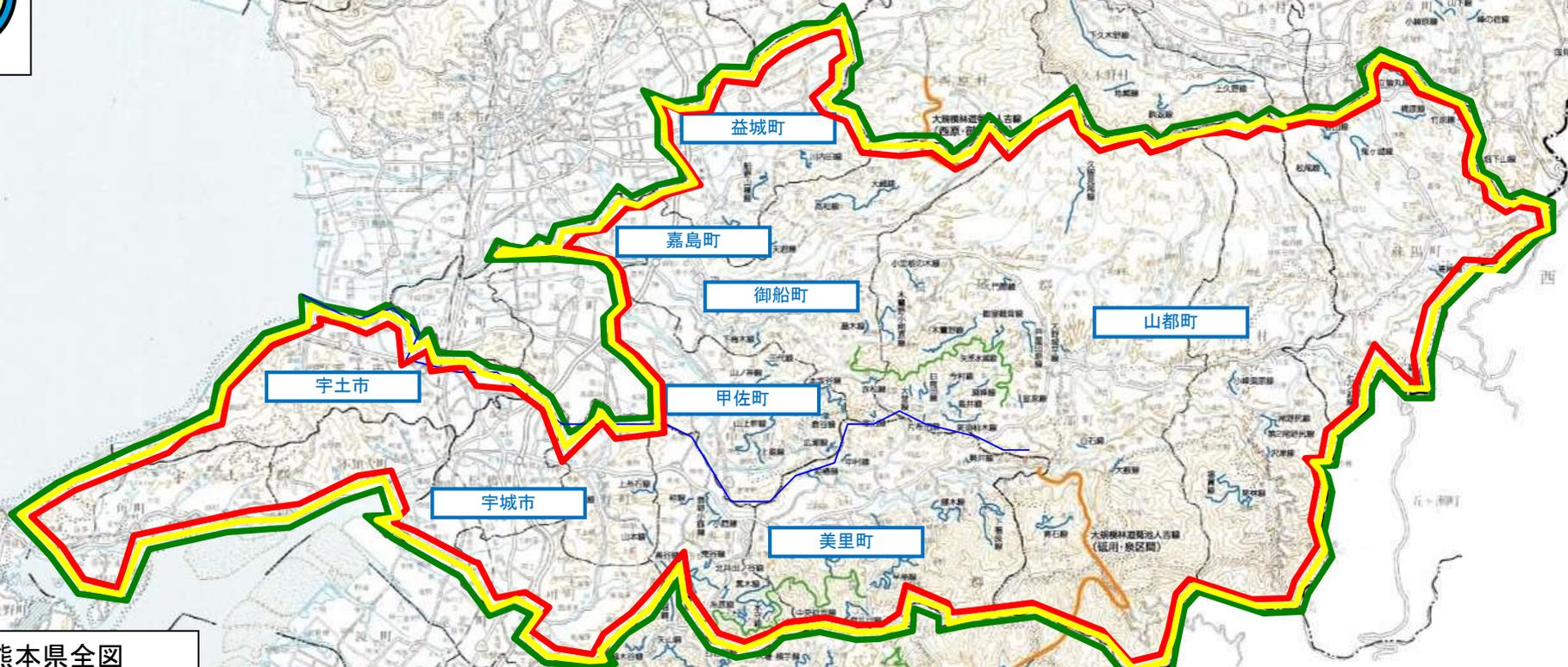
都道府県名： 熊本県

地域(地区)名： ^{みどりかわ} 緑川

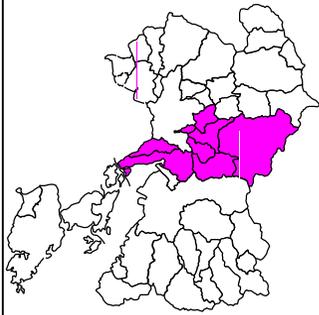
(単位:千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-----------------------|---|-----------|-----|
| 水源涵養 ^{かん} 便益 | 洪水防止便益 | 2,623,045 | |
| | 流域貯水便益 | 640,483 | |
| | 水質浄化便益 | 1,370,126 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 1,438,169 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 1,727,916 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 1,429,894 | |
| 総 便 益 (B) | | 9,229,633 | |
| 総 費 用 (C) | | 1,762,714 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{9,229,633}{1,762,714} = 5.24$ | | |

森林環境保全整備事業 緑川地域(熊本県)



熊本県全図



| 凡 例 | |
|------|--|
| 計画区界 | |
| 事業区域 | |
| 整備箇所 | |